

敵基地攻撃能力保有は先制攻撃・戦争への道

止めよう! 大軍拡・大增税

大街頭宣伝

アメリカの戦争で、日本が危ない!!

「新しい戦前」にしないために、広く、手をつなぎましょう

岸田首相が昨年12月16日に閣議決定した安保3文書、「国家安全保障戦略」には「敵基地攻撃能力(反撃能力)保有」が書き込まれました。そのための防衛費の二倍化も表明しています。

先制攻撃すれば反撃されるに決まっています。

多くの人が「新しい戦前」と危惧しているように、戦争を呼び込みかねません。

戦争放棄を謳っている憲法9条に反することは明らかです。

2月26日に行われた自民党大会では9条改憲実現に向けて加速することも確認されています。

こうした中、2月28日、23年度予算案が衆議院を通過しました。

岸田首相自ら防衛政策の大転換と言いながら、この間の論戦では、首相も閣僚も何一つ正面から答えていません。国会軽視は国民無視です。

論戦の舞台は参議院に移りました。

この防衛政策の大転換で、日本はどこに向かうのか、大軍拡が何をもたらすのか、しっかり議論されるべきです。良識の府、参議院がその役割を果たすよう、市民の側から、後押ししていきましょう!

民主主義も憲法も破壊する政権の横暴を黙って許すわけにはいきません。

毎月19日に県内各地で続けられている「安保法制廃止、19日行動」と連帯し、全力で戦争への道を阻みましょう!

2023. **3.19** (日)

12:00~13:00

仙台駅西口

ペDESTリアンデッキ

雨天決行

主催 19日行動実行委委員会

022-728-8812

戦争国家 NO! 宮城県実行委員会 022-234-1335

4月19日(水) 12:00~元鍛冶丁公園にて集会・スタンディングの計画です。